

○ 近畿地方交通審議会答申第 8 号について

- 国土交通省近畿運輸局長への答申
- 答申第 8 号は、平成 16 年 10 月に策定
- 目標年次は、概ね 2015 年（平成 27 年）。ただし、鉄道ネットワークの将来展望に関しては、さらに中長期的な視点からそのあり方を捉えることとされている。
- 「近畿圏における望ましい交通のあり方」をとりまとめ
- 鉄道については、「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」を位置付け

[参考] 答申第 8 号における答申路線の選定とその考え方

路線の選定に当たっては、

- ・ 費用対効果が 1 を超えるもの
- ・ 施設整備に対し相当の支援措置を前提に採算性が確保される路線を基本とし、
- ・ 地域開発や都市機能の向上等、都市政策上の必要性を考慮して選定

なお、施設整備に対し相当の支援措置を前提に採算性が確保される路線については、インフラ部分の資金負担を負わない上物の営業主体が、資金収支ベースで開業 40 年で黒字化するものを評価している。